

令和2年度 学校運営協議会（第1回）議事録

- 1 実施方法 令和2年度第1回学校運営協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議形式ではなく、事前に資料を送付し、書面により協議委員の方から意見を聴取することにより実施した。
- 2 対象者 協議会委員：保護者、地域住民、学識経験者等5名
 本校教職員：校長、教頭、事務長、首席
 教務主任、生徒指導主事、進路指導主任、生徒会主任、保健主事

3 項目別意見内容

◇ 令和2年度 学校経営計画および学校評価について

① 『1 めざす学校像』『2 中間的目標』について

- ◆少人数授業の実施により、生徒の授業理解度が上昇している。今後も継続してもらいたい。
- ◆主体的で対話的な深い学びを推進する上で、学校図書館を学びのセンター的機能を持った場として環境整備を進めていることが利用者の増加に表れている。図書館の利用者数の増加から勉強意欲が増長している事が伺えるので整備を続けてもらいたい。授業における図書館利用の工夫も併せてより推進してほしい。
- ◆校内図書館の新しい拡大展開が行われていて、その成果が毎年の利用者数の増加として表れている。3年後、7000人利用者数を目標としていることは2022年から始まる新学習指導要領にある育成すべき資質・能力として『自立して生きる力を身に付ける』に学びの中心として図書館はこのような能力を身に付けることに大いに役立つと思う。
- ◆『地域と共に歩み・・・』という形を具体的にどのような活動をされるのかを知りたい。
- ◆『共に厳しく寄り添い』が先にあるが、もう美原高の場合、そういう時代は過ぎたように思う。『自由奔放的なもの』が先にきて『厳しく寄り添う』は後でということも一つの手法ではないだろうか。

② 『3 本年度の取組内容及び自己評価』について

- ◆この取り組み内容ですすめてもらいたい。ICTを使った授業展開や生徒たちが自分で考え、教え合うことで互いの学力向上となるグループワークやプレゼンテーション等が必要だと思う。
- ◆広報活動においてHPを積極的に活用し、美原高校生の学校生活の良さや魅力をもっと外部に発信してほしい。
- ◆素晴らしい取り組み内容だと思う。限られた期間内や決められた予算内ですべてをこなす事は難しいが、その中でも優先順位をつけてできることから遂行してもらいたい。
- ◆教員力の向上において、他校種の見学等で経験の少ない先生を育てることも大事だが、経験豊富な教員から経験年数が少ない教員に刺激を与える事という方法もひとつである。
- ◆少人数授業における生徒の満足度がとても高いので、この体制を継続するとともに、さらなる充実が行われることを期待する。

◇ 令和2年度 学校教育計画について

- ◆文化系・スポーツ系、その他の取り組みで美原高校としてのアピールできる特徴を見出すことが生徒数の確保に繋がると思う。
- ◆地域と共に歩み、地域に愛される学校をめざすなら美原高校の旗（特徴）が必要である。
- ◆COVID-19感染症のため学校教育計画がこれまでとは大きく異なり、その対応が大変だと思う。これまでの学校生活とは全く新たな展開も考えていくことが起こると思うが、これまでの良い面は大切にしてもらいたい。

◇ 各分掌より について

① 『令和2年度 生活指導部方針』について

- ◆生活指導は変わらず厳しいままで、行ってもらいたい。最近は薬物乱用が増加しているので講習会などで注意喚起は継続的に行ってもらいたい。
- ◆学校全体として、しっかりとした生活指導基本方針をもって生徒に臨んでいることは落ち着いた学校生活に繋がると思う。
- ◆基本姿勢はまさにこの通り共感・賛同する。ただ自己責任という文言が頭髮指導にのみ標記されていることが残念である。
- ◆生徒指導は本当によく活動されていて大きな成果を上げていることに感心する。また SNS 利用の講習会を実施することなど、これからの時代には必要な取り組みだと思う。

② 『令和元年度 4 2期生 進路状況』について

- ◆4年制の進学率が増える中、一般入試にチャレンジする生徒が増えてきている事は喜ばしいことだが、その反面、未定者が増えているのが残念に思う。就職では一次合格者の女子の合格率の低さが気になる。
- ◆生徒個々の進路に対する思いを受け止め、進路実現に向けてより一層取り組まれることを望む。
- ◆進路実現に向けて何を準備すればよいのかを保護者の協力も得ながら生徒に自覚させることが大切だと思う。
- ◆公募制推薦入試、一般入試の合格者をさらに増やす、また進路実現における準備不足を減少させることが今後の課題である。
- ◆年々就職する生徒よりも進学する生徒が増えてきているように思う。どちらに進むにしても確かな学力を身に付ける方針が今後生きると思う。

◇ 令和2年度 授業アンケートについて

◆質問項目⑧⑨

が特に学校としての取り組みにおける評価となるので、実施計画通り、半年毎に生徒の意識がわかりやすい時期に実施するのが良い。

◇ 本校の教育活動等についてご意見・ご感想を自由にご記入ください。

- ◆学校行事等の工夫した取り組みを例年行っているが、今年度はコロナウイルス感染症対応の中でより工夫した取り組みが求められると思う。生徒の思いが少しでも実現できることを願う。
- ◆生徒・教職員の方々もみんなに会えること、勉強に部活動など全ての事が楽しいと思えるような学校になってほしい。
- ◆例年と違った対応が学校に求められている中で最善の方法を常に模索しながら運営していることに感謝する。今後、自然災害を含め、何が起こるか分からないが、まずは生徒・教職員の安全確保が重要だと思う。さまざまなケースを想定した事前準備や対応が必要だと思う。
- ◆ここ数年間において、美原高校がより良い学校となったことに感謝する。美原高校の個性を見出し、伸ばすことを望む。
- ◆COVID-19 感染症の広がりの結果、学校活動にも大きな影響が生じている。新たな授業形態などを模索することとなるが、今まで変えることができなかったことが変えられる機会にもなると思う。

[1] 令和2年度 学校運営協議委員長について

委員長を 堺市立美原中学校 校長 浅野浩司氏 に依頼したいと考えております。よろしいでしょうか。

学校運営協議委員すべての方(ご本人除く)から委員長を 堺市立美原中学校 校長 浅野浩司氏 に
ぜひ依頼したいという返答がありました。